

## 蓄光シール命を救う……. 取材のお願い

東日本大震災は私の人生の中でも死ぬまで忘れられない思い出になるでしょう個人的な話しですが、これが人生最後の作業になるかも知れません。10年経っても、解決できません。

かなり甘いかも知れません。可能ならマスコミサイドから援護射撃をお願いできれば嬉しいです。適任者あるいは部署が別であれば転送していただいても構いません。

過日、日本障がい者会議の東日本大震災第一次報告会が衆議院会館で開いて、全日ろう連の川原理事が17名の聴覚障がい者が死亡したことを報告。聞こえる人の被災率は0.5%、聴覚障がい者の被災率は1.7%。想像ですが「津波が来ているよ。高台に逃げろ」というアナウンスが聞こえなかつたためだと。

聴覚障害者は見えない障害、外見では、聴覚障がい者と健聴者の区別がつかないので、何らかの形での識別シールなどの工夫が必要になる。これがあれば障害の有無がわかり、多くの人救われるのではないかと。私はそう考えた。

一方では、政府の発表では4年以内にマグネチュード7以上の地震が起きる確率は70%という。  
・識別シールによって一人でも多くの人救われたら……。そういう願いを込めて用意した。四面楚歌の中で10ヶ月間かかりました（※格闘記に興味があればご連絡ください）名付けて「お助けシール」（別紙「お助けシール」企画書参照資料A）。

・市販されている蓄光シールは2〜3時間程度（資料B）。今回提案するシールはメーカーの格闘もあり10時間以上を実現。夜間も光って知らせるので聴覚障害者と分かり、被害率は減少すると確信している（目印はハンカチなどがあるが、昼間だけしか使えないという欠点がある。「お助けシール」は昼夜に関係なく使える。災害はいつやってくるか分からない。いつでも使えるようにしておきたい）。

公式な識別手段として国などに導入を働きかけたい（※「航路標識法」などの改正。詳しいことは資料を請求してください）。お願いは一つ。

このような識別シールが出来たということの記事にいただければ嬉しい（今後、大震災が起きれば被害が大きいと思われる東北3県にPRしたいが、被害県の聴覚障害者に「買ってくれ」とは言えない。寄付金を集めて作りたい。7万円あれば333人に。30万円あれば1427人の命が救われるのです。ここはマスコミに応援をおねがいするしかないです。是非とも趣旨に賛同していただき援護射撃をお願いできれば嬉しいです。見本を同封いたします。ご使用のさいは20分以上、太陽光または蛍光灯にさらしてください、興味のある方はメールを。何か良い情報がありましたら、下記までメールください。[nakazono@bcs33.com](mailto:nakazono@bcs33.com) 最後までお読みいただきありがとうございます。